

重点審議の対象の候補について

<共通的な視点等>

- ・実際の審議対象について、影響度や利用度を加味して絞り込むべきではないか

<これまでの審議において、候補として上がった統計・切り口等>

○毎月勤労統計調査

○システム関連のドキュメントの整備状況が悪いもの

例：毎月勤労統計調査 など

○調査対象や調査手法の変更が多く、システム変更等の対応が追いつかないもの

例：毎月勤労統計調査、学校基本統計調査 など

△賃金構造基本統計調査（※他部会等での審議状況を踏まえた上で判断が必要）

○作成プロセスに関与する組織の範囲や種類が多く、履行確認が手薄のもの

例：人口動態統計調査（都道府県からの報告漏れが多数発生）

○政策部局が作成しており、人数も少なく、民間事業者への依存度が大きいもの

例：法人土地・建物基本調査、経済産業省特定業種石油等消費統計

○適切なデータ保存の観点から更なる審議が必要なもの

例：港湾調査 など

- ・一般統計調査からの候補はないか？